

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-210108

(P2000-210108A)

(43) 公開日 平成12年8月2日 (2000.8.2)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマート* (参考)
A 4 4 C 1/00		A 4 4 C 1/00	3 B 1 1 4
A 4 1 F 19/00	1 1 4	A 4 1 F 19/00	1 1 4
A 4 4 C 25/00		A 4 4 C 25/00	A

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平11-17755

(22) 出願日 平成11年1月27日 (1999.1.27)

(71) 出願人 599012282

手塚 巖

東京都台東区上野5-6-7 有限会社ア

ーテック内

(72) 発明者 手塚 巖

東京都台東区上野5-6-7 有限会社ア

ーテック内

(74) 代理人 100072729

弁理士 中澤 健二

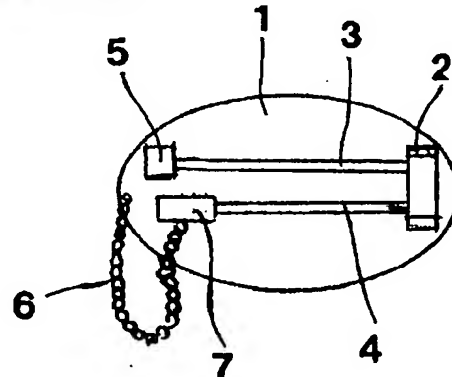
Fターム (参考) 3B114 CC10 CC11 EC05

(54) 【発明の名称】 ネックレス、ペンダント、帯留等に兼用可能なブローチ、及び、ブローチをネックレス等として用いる際に使用する金具、並びに、ペンダントとの組み合わせ金具

(57) 【要約】

【課題】 ブローチが被服からの脱落がほとんどないように改良すると共にブローチをネックレス、ペンダント、帯留等としても使用できるようにし、また、別のペンダントと組合わせてデザインの異なるより豪華なブローチやネックレス、ペンダントを作ることができるようにする。

【解決手段】 ブローチ本体裏面に2本のピンを一端を中心として同期回転自在に取付け、ブローチ本体裏面に1本のピンの先端を露出することなく係止する留め金を設けると共に、もう1本のピンの先端を包被するキャップを鎖その他の可撓体によりブローチ本体に取付ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ブローチ本体裏面に2本のピンを一端を中心として同期回転自在に取付け、ブローチ本体裏面に1本のピンの先端を露出することなく係止する留め金を設けると共に、もう1本のピンの先端を包被するキャップを鎖その他の可撓体によりブローチ本体に取付けたことを特徴とするネックレス、ペンダント、帯留等に兼用可能なブローチ。

【請求項2】 ピンを挿入することができる内径の管に鎖の挿通部を形成したことを特徴とするブローチをネックレス若しくはペンダントとして用いる際に使用する金具。

【請求項3】 ピンを挿入することができる内径の管に帯紐等を挿通し得る内径の偏平なリングを1対取り付けしたことを特徴とするブローチを帯留若しくはネックレスとして用いる際に使用する金具。

【請求項4】 ピンを挿入することができる内径の管の中間を切除し、ペンダントの吊り金具に挿通してペンダントを吊り下げるU字状杆により該切除部を接続したことを特徴とするペンダントとの組み合わせ金具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ネックレス、ペンダント、帯留等に兼用可能なブローチと、このブローチをネックレス、ペンダント、帯留等として用いる際に使用する金具等に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】ブローチは、ブローチ本体の裏面に被服に装着する手段として被服に刺通する1本のピンを回転自在に設けると共にピンの先端を露出することなく係止する留め金を設けた構造が一般的である。

【0003】このため、従来は、ブローチをブローチとして使用できると同時にネックレスやペンダント等としても使用できるようにすることは構造上から困難であった。どうしてもネックレスやペンダントにしなければ、ネックレスやペンダントに作り替える他には方法がなかった。

【0004】また、従来のブローチは、ピンを留め金に間違いなく係止することを怠るとブローチが被服から脱落して紛失することがままあった。

【0005】しかし、近時、気に入ったデザインのブローチをブローチとして使用できると同時にネックレスやペンダント等としても使用できるようにすることが求められるに至った。

【0006】そして、間違いなく被服に装着でき、脱落して紛失することのないブローチが求められていた。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】そこで、本発明は、ブローチが被服からの脱落がほとんどないように改良すると共にブローチをネックレス、ペンダント、帯留等とし

ても使用できるようにし、また、別のペンダントと組み合わせてデザインの異なるより豪華なブローチ、ネックレス、ペンダントを作ることができるようにすることを目的とするものである。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、本発明は、まず、ブローチ本体の裏面に刺通して被服に装着するためのピンを同期回転自在に2本設け、その内の1本のピンについてはピンの先端を露出することなく係止する留め金をブローチ本体の裏面に設け、もう1本のピンには留め金を設けず、代わりにこのピンの先端を包被するキャップを鎖その他の可撓体によりブローチ本体に取付ける構成を採択することにより、仮に、ピンの留め金への係止が不完全であってピンが留め金からの離脱してもキャップに接続した鎖その他の可撓体により被服に刺通したピンが被服より抜けることがないようにして被服からブローチが脱落しないようにしたものである。

【0009】また、本発明は、適当な3種類の金具を使用することにより、ブローチをネックレスにもペンダントにも帯留にも使用することができるようにし、また、ブローチを所望のペンダントと組合せることができるようにすると共にこの組合せをブローチとしては勿論、ネックレスにもペンダントにも帯留にも使用することができるようにしたものである。

【0010】本発明が採択した金具は、第1に、ピンを挿入することができる内径の管に鎖の挿通部を形成したものである。

【0011】この金具は、ブローチをネックレス若しくはペンダントとして用いる際に使用するものであって、留め金を備えたピンを管に通し、首にかける鎖、いわゆるネックチェーンを管に設けた挿通部に挿通することにより、ブローチをネックレス若しくはペンダントとして用いることができるようにしたものである。この金具は取り付けしたピンは留め金に係止されるので脱落したり、遊動することはない。

【0012】本発明が採択した金具は、第2に、ピンを挿入することができる内径の管に帯紐等を挿通し得る内径の偏平なリングを1対取り付けしたものである。

【0013】この金具は、管にピンを挿入し、リングに帯紐を挿通することにより、ブローチを帯留として使用することができるようにしたものである。また、リングにその内径に見合う紐を挿通し、頸部後方でこの紐を結ぶようにすれば、ブローチをドッグネックと呼ばれるネックレスとして使用することができる。本発明の実施に際しては、リングにもう1本のピンを挿入し得る内径の管を備えることが望ましい。

【0014】本発明が採択した金具は、第3に、ピンを挿入することができる内径の管の中間を切除し、ペンダントの吊り金具に挿通してペンダントを吊り下げるU字

状杆により該切除部を接続したものである。

【0015】この金具は、ペンダントの吊り金具に挿通してU字状杆にペンダントに係合し、管に留め金を備えていないピンを挿入して使用する。こうすると所望のペンダントと組合わさったブローチが得られる。ペンダントに係合したこの金具は、キャップでピンの先端を包被することにより脱落が防止される。この金具と、前記第2の金具を留め金を備えたもう1本のピンに取り付けられ、ネックレス若しくはペンダントとして用いることができる。

【0016】

【発明の効果】本発明の構成は以上の通りであるから、本発明によれば、仮にピンが留め金から外れてもキャップとキャップに接続した鎖その他の可撓体によりピンが被服より抜けることがないので被服からブローチが脱落することはないし、僅かな種類の金具を使用することにより、ブローチをペンダントと組み合わせ或いはペンダントと組み合わせることなく、ネックレスにもペンダントにも帯留にも使用することができ、使用者が多様なコーディネートを楽しむことができる効果がある。

【0017】しかも、本発明によれば、ブローチとペンダントと組合わせと、ブローチ、ネックレス、ペンダント、帯留等の兼用とがすこぶる安価に実現できる効果がある。

【0018】

【実施例】以下、本発明の実施の例を図面を参照して説明する。

【0019】第1図及び第2図は、本発明のブローチの1実施例を示しており、符号1はブローチ本体を示している。ブローチ本体1の裏面一側には、支柱2が設けられており、一端を尖頭とした2本のピン3、4の他端が同期回転自在に平行に取り付けられている。そして、ブローチ本体1の裏面他側には、上段のピン3の先端を露出することなく係止する留め金5が設けられている。ブローチ本体1には鎖6の一端が取り付けられており、鎖6の他端には下段のピン4の尖頭とした先端を包被するキャップ7が取り付けられている。

【0020】上記のブローチの使用は、上段のピン3を留め金5から外し、下段のピン4からキャップ7を外し、上段のピン3と下段のピン4を同期回転させ、上段のピン3と下段のピン4を被服の適当箇所に刺通した後、上段のピン3を留め金5に係止し、下段のピン4にはキャップ7を嵌めることにより行う。

【0021】このように、上記のブローチは、上段と下段のピン3、4を被服に刺通するので、仮に、上段のピン3が留め金5に係止されていなくても、下段のピン4の先端がキャップ7に包被されており、キャップ7は鎖6によってブローチ本体1に接続されているので、被服から脱落することがない。逆に、下段のピン4にキャップ7が嵌めてなくとも、上段のピン3が留め金5に係止

されていれば同様である。また、上記のブローチは、上段と下段のピン3、4を被服に刺通するので、ブローチのバランスが悪くても、また、被服の生地がなくても、ブローチが傾くこともない。

【0022】上記のブローチをネックレス若しくはペンダントとして用いる際には、図3に示した如く、上段のピン3を挿入することができる内径の管8にネックチェーン9の挿通部10を形成した金具が使用される。

【0023】図3に示した金具は、図4に示した如く管8に上段のピン3を挿入し、ネックチェーン9を挿通部10に挿通し、上段のピン3を留め金5に係止し、下段のピン4にキャップ7が嵌めて使用に供される。

【0024】また、上記のブローチを帯留或いはドッグネックと呼ばれるネックレスとして用いる際には、図5及び図6に示した如く、上段のピン3を挿入することができる内径の管11に帯紐12等の紐を挿通し得る内径の扁平なリング13、13を1対取り付け、このリング13、13に下段のピン4を挿入することができる内径の短管14、14を取り付けた金具が使用される。

【0025】図5、図6に示した金具は、図7に示した如く、管11に上段のピン3を挿入すると共に短管14、14に下段のピン4を挿入し、上段のピン3を留め金5に係止し、下段のピン4にキャップ7が嵌めて使用に供される。図8に示した如く、リング13、13に帯紐12を挿通すれば帯留として使用することができ、リング13、13にその内径に見合う紐を挿通し、頸部後方でこの紐を結ぶようにすれば、ブローチをドッグネックと呼ばれるネックレスとして使用することができる。

【0026】そして、上記のブローチに適宜のペンダントと組合わせて用いる際には、図9に示した如く、下段のピン4を挿入することができる内径の管15の中間を切除し、ペンダント16の吊り金具17に挿通してペンダント16を吊り下げるU字状杆18により該切除部を接続した金具が使用される。管15の中間を切除し、かつ、該切除部の接続をU字状杆18で行うのは、ペンダント16の吊り金具17の挿通を可能とするためである。

【0027】図9に示した金具は、適宜のペンダントと組合わせたブローチとして使用する場合であれば、図10に示した如く、ペンダント16の吊り金具17を管15に挿通してペンダント16の吊り金具17をU字状杆18に係合し、管15に下段のピン4を挿入し、上段のピン3を被服に刺通して留め金5に係止し、下段のピン4にキャップ7が嵌めて使用に供される。

【0028】図9及び図10に示した金具を使用するに際しては、図3及び図4に示した金具との併用も可能である。図示しないが、図3及び図4に示した金具に上段のピン3を挿入し、図9及び図10に示した金具に下段のピン4を挿入すれば、ブローチのデザインとペンダント16のデザインが複合したデザインのネックレス若し

くはペンダントとして用いることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のブローチの一実施例の平面図

【図2】 図1の実施例の背面図

【図3】 図1のブローチをネックレス若しくはペンダントとして用いる際に使用する金具の斜視図

【図4】 図3の金具を使用してネックレスとした状態における図1のブローチの背面図

【図5】 図1のブローチを帯留若しくはネックレスとして用いる際に使用する金具の正面図

【図6】 図1のブローチを帯留若しくはネックレスとして用いる際に使用する金具の側面図

【図7】 図5及び図6の金具を図1のブローチに装着した状態における背面図

【図8】 図5及び図6の金具を図1のブローチに装着して帯留として使用した状態における一部を切り欠いた背面図

【図9】 図1のブローチとペンダントとの組合せ金具の正面図

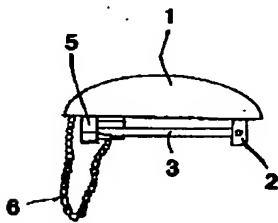
【図10】 図7の金具を使用してペンダントと組合せ

た状態における図1のブローチの背面図

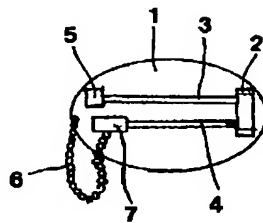
【符号の説明】

- |    |         |
|----|---------|
| 1  | ブローチ本体  |
| 2  | 支柱      |
| 3  | ピン      |
| 4  | ピン      |
| 5  | 留め金     |
| 6  | 鎖       |
| 7  | キャップ    |
| 8  | 管       |
| 9  | ネックチェーン |
| 10 | 挿通部     |
| 11 | 管       |
| 12 | 帯紐      |
| 13 | リング     |
| 14 | 短管      |
| 15 | 管       |
| 16 | ペンダント   |
| 17 | 吊り金具    |
| 18 | U字状杆    |

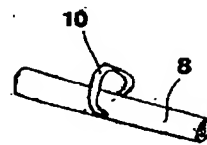
【図1】



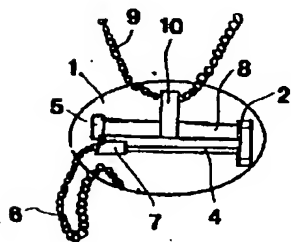
【図2】



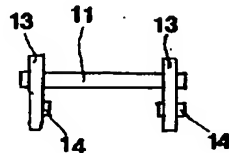
【図3】



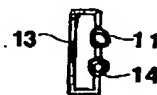
【図4】



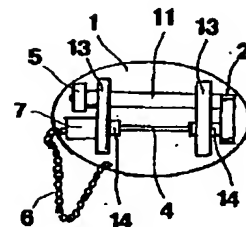
【図5】



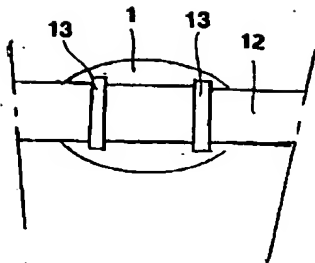
【図6】



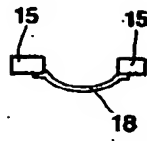
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

